

JBA：ヘルスケア認定寝具評価の目安 2020.02.28

JBA：ヘルスケア認定寝具策定委員会

1) 睡眠健康機能 60点

*機能No.①、②は1項目40点、他③～⑭は1項目25点とする、申請評価は3項目迄でその合計点数(上限60点)

調査集計

No.	睡眠健康機能項目	項目の定義	エビデンスの条件/種類			介護	JBA
①	眠りの質改善(安・快眠)	・睡眠リズムを整えて 身体、脳、自律神経も休ませる眠りにいざなう手法	PSG	メラトニン等測定	有意差検定	25	7
②	リカバリー(疲労対応)	・心身の疲れを睡眠中にサポートし、活気、活力の向上を図る(ウェアは一般医療機器対象)	PSG	POM	有意差検定	8	3
③	スリープテック	・IoT活用の寝室環境含めた睡眠サポートシステム	IOT利用の家電等連携機能			5	1
④	生体センシング	・睡眠を可視化するセンサー内蔵する製品 *薬機法品目の為、医療機器認定品不可	圧電等センサー内蔵			4	0
⑤	血流への作用	・温熱、浮力、圧着等で血流は促進され、滞ると筋肉の凝り、体温低下等の主要因となる	血流データ	POM	有意差検定	9	4
⑥	腰への負担が減少	・敷き3大支持性能(寝姿勢、体圧分散、寝返り性)が身体への負担が少なく腰にもよい	体圧測定データ	JBAラベル	有意差検定	15	4
⑦	調温調湿	・寝床内環境 温度33度±1℃、湿度50%±5%の最適環境を創出保持する	実測データ	素材JIS試験		11	6
⑧	いびきの減少	・上気道が狭くなり、粘膜が空気圧で振動し、いびきとなるのを軽減する	POM	動脈酸素濃度測定	有意差検定	4	0
⑨	体圧分散性	・人体は部位により重さが異なり、寝床でバランスよく体圧を分散し受け止める	体圧測定データ		JBAラベル	33	12
⑩	寝返り性	・寝床内温湿度や血液循環等で寝返りし、素材と構造で性能差が生じ、敷は反発弾性と硬さで判定	実測データ		JBAラベル	17	5
⑪	肩(首)負担が減少	・まくらには背骨S字曲線の基点となる頸部中心に無理なく支える高さや形状が求められる	頭部、頸部、肩部の圧力バランス測定		有意差検定	3	0
⑫	横向き寝が楽	・東洋医学は横向き寝が楽な寝方(シムス体位)で、呼吸しやすく、腰への負担も少ない	寝姿勢測定データ	体圧測定データ		7	4
⑬	寝姿勢保持	・直立時の背骨S字曲線が寝床内でも保持できることで身体への負担を減らす	寝姿勢測定データ			14	4
⑭	保温性(冷えの対処)	・空気層で断熱効果を高めることで熱放出をしにくくする仕様構造である	実測データ	CLO値	サーモグラフィ	*	*

⑮	アレルギーの低減	・喘息、アトピー、花粉症等疾患要因。繊維上の花粉由来蛋白質（ダニ抗原、ハウスダスト含）を低減。ISO化準備中 基準値未定	実数比較値		有意差検定	4	8
⑯	接触冷感	・触れるとひんやり感じる感覚で、熱の伝導性であり最大熱吸収速度q-max値で評価する	JIS実測データ	q-max	サーモグラフィ	*	*
⑰	吸湿発熱	・体からの不感蒸泄等を繊維自体が吸収し、熱エネルギーに変換し発熱する	実測データ	素材JIS試験	サーモグラフィ	10	9

*睡眠健康機能を製品又は広告表記の場合は、各都道府県業務課に必ず確認して使用して下さい。

*エビデンスの条件/種類

試験機関（他）		・大学研究施設 ・病院内治験 ・公的及び第三者検査機関 ・素材企業データ ・学会系研究機関 ・(自社資料)
臨床試験		・有意差検定の有無 ・ランダムマイズ（無作為な順序で表示等）制約なし ・比較品データ ⇒ 一般市販標準品とし製品仕様明記し 添付必須 ・睡眠の質評価 ⇒ PSGは 睡眠効率、深睡眠率、中途覚醒回数 の何れかの有意差 ・睡眠の質評価 ⇒ 各種ホルモン、メラトニン、成長ホルモン、コルチゾール等の測定 ・睡眠の質評価 ⇒ 自律神経バランス LF/HFストレス指標
(解説)	有意差検定	複数のグループの数値の間に有意差があるかどうかを検証する為の統計学的な操作のこと
	PSG	ポリソムノグラフィ 終夜睡眠ポリグラフ検査（脳波、眼球運動、心電図、いびき、体動、動脈血酸素飽和度等の生体現象測定
	POM	パルオキシメーター 指先や耳たぶに付け、動脈血酸素飽和度等と脈拍数を測定装置
	LF/HF指標	ストレス指標 LF交感神経とHF副交感神経の緊張状態により心拍変動へのLFとHFの変動波の大きさ変化を利用し自律神経バランスを推定
	JBAラベル	JBA機能評価目安：寝返り性（反発弾性×硬さ）、快適性（保温性×透湿性）、耐久性（へたりにくさ）を4つ星評価 体圧分散性のみ任意表記

2) 衛生機能：15点

*機能No.①～④は1項目15点、⑤～⑧は1項目10点とする（但し、側/詰めもの両方加工は+5点）。

申請評価は2項目迄でその合計点数（上限15点）

			介護	JBA
①	制菌(特定)	JIS L 1902 抗菌活性値>標準布の増殖値	15	8
②	抗ウイルス	JIS L 1922 抗ウイルス活性値≥3.0	0	2
③	消臭	織技協法 ⇒ 排泄臭、加齢臭、汗臭、たばこ臭、生ごみ臭等の測定データ	27	16
④	制菌(一般)	JIS L 1902 抗菌活性値≥標準布の増殖	19	14
⑤	防ダニ	JIS L 1920 忌避試験 中わた・ガラス管法、側地・侵入阻止法、忌避率50%以上。増殖抑制試験 中わた・B法増殖抑制率50%以上	18	18
⑥	防カビ	IS L 1921 黒麹カビ、アオカビ、クロカビ、白癬菌の4種中、2種以上のカビを選択試験。抗カビ活性値≥3.0	19	5
⑦	抗菌(防臭)	JIS L 1902 抗菌活性値≥2.2	32	22
⑧	防蚊	JIS L1950 - 1生地の吸血阻止法（カケンのみ可能）、JIS L1950 - 2生地の強制接触法（蚊帳、カーテン等で接触殺虫・気絶）	*	*

3) メンテナンス機能：15点

*機能1項目10点、申請評価は2項目迄でその合計点数 (上限15点)

介護 JBA

①	丸洗い	JIS L 1930 C形洗濯機 (容量7~10kg) にて、取扱い絵表示に基づく洗濯・脱水が実施できること	35	20
②	防水	JIS L 1092 低水圧法 300mm以上	20	8
③	防汚	JIS L 1919 一社) 繊維評価技術協議会法の基準	15	5
④	速乾	JIS L 1930 C形洗濯機 (容量7~10kg) にて取扱い絵表示に基づく洗濯・脱水を行った後、標準状態 (20℃、65%RH) にて30分 (或いは60分) 毎に測定し、洗濯前重量まで乾燥する時間を求める (最大8時間まで測定する)。6時間以内を目安とする	20	14
⑤	取扱い性	利便性で使い勝手良さ (厚薄2枚仕立、カバー取付性、一枚敷、高さ調節、収納性、軽さ等)	4	1
⑥	防災	防災協会認定 防災ラベル と 難燃ラベル を対象とする	11	6
⑦	再生	ふとん打直し等の再生可能な素材や仕様構造を有し、再生流通システムが利用できる製品	*	*
⑧	耐久性	素材、構造で耐久物性のある製品 (生地：引裂強度や耐摩耗性データ、詰めもの：回復性等)	23	5
⑨	フィット性	素材特性・仕様構造による、掛のまわり性能、敷き、まくらの寝姿勢の適正保持性能	*	*
⑩	吸水性	JIS L1907布帛試験用滴下法 (織物60秒以下、スポーツ生地10秒か3秒以下基準)、パイル試験用沈降法 (60秒以下、今治基準5秒以下)	3	9
⑪	制電性	JIS L 1094 半減期測定法30秒以内、摩擦帯電圧測定法2,000V以下。	*	*

*上記 ⑤取扱い性 ⑦再生 ⑧耐久性 ⑨フィット性等はエビデンス困難な場合、素材と仕様構造の自社解説資料を参考データ評価対象とする。

4) 企業社会性：10点

*機能1項目10点、申請評価は ① と ② 項目でその合計点数 (上限10点)

①	事業継続性 10点	業歴、規模、CSR (労働基準法、下請法、特商法、家表法、景表法、薬機法、PL法、個人情報法、廃棄物処理法等の順守)、CS組織活動 BCP事業継続計画シート他
②	SDGs取り組み 他 10点	SDGs 17分類169項目、3R (リデュース、リユース、リサイクル)、外部認証団体 (ISO、エコテックス、エコサート、エコマーク等) 活用

*上記 ① と ② 審査項目で該当する内容を申請書内に記入し、証明資料を添えて申請すること

*別途に、認定必須条件である 企業社会性①と② の項目概要を記載する。

■上記の審査分類 1) 2) 3) 4) の申請9項目以内のエビデンスレベルで、合○否×を判定し、企業社会性10点は必須条件とし総合60点以上が認定表示製品となる。

※付記説明 (各機能1) 2) 3) の右欄記載、介護・JBA調査集計について)

・アンケート調査での各項目別：介護はニーズ、JBAは訴求数です。

アンケート調査団体と協理事業者数

一般社団法人 日本福祉用具供給協会／

全国48事業所 (ケアマネージャー・介護福祉士、福祉用具専門相談員、ホームヘルパー他)

一般社団法人 日本寝具寝装品協会／

正会員企業37社、団体正会員先企業8社、賛助会員企業6社 合計51社